

III. 南南協力支援評価：効果

評価対象	評価手段	評価項目	評価内容	情報入手手段	相手先
111. 効果	定量的、定性的評価	事例国における有効性（事前事後モデル） 南南協力支援政策の以下の目標が実際に達成された、あるいはこれから達成されると見込まれる度合い。 ・経費削減につながる ・適正な技術の円滑な移転につながる ・援助資源の拡大につながる（新興援助国の育成） ・域内協力の推進につながる ・地域間協力の進展につながる	二国間援助スキームと比較してどの程度経費削減につながったのか？ ・わが国の専門家派遣と第三国専門家派遣の経費の比較 ・本邦研修と第三国研修の経費の比較	a. 現地調査での関係者へのヒアリング b. 外務省、JICAの経費に関する報告書	外務省（在外） JICA（在外） 協力実施国（政府、実施機関）
			二国間援助スキームと比較してどのような技術が、どのように適切に目つ円滑に移転されたのか？ ・第三国専門家派遣及び第三国研修で移転された技術の日本における蓄積（有識者、専門家のタイプ、数）との比較	a. 現地調査における関係者へのヒアリング	外務省（在外） JICA（在外） 協力実施国（政府、実施機関） 協力受益国（政府、研修受講者）
			新興援助国の育成にどの程度貢献しているのか？ ・新興援助国の政府開発援助実施額の推移 ・新興援助国の途上国向け研修実施件数 ・新興援助国の政府開発援助予算の推移 ・新興援助国における政府開発援助の実施機関、研究所数 ・新興援助国が援助を行った国、国数の推移 ・新興援助国における専門家の登録人数 ・南南協力支援政策の持続的実施に必要な組織体制はあるか？ ・三角協力枠組みで約束された費用分担の実行性の見通しはあるか？ ・収入源は安定的な資源といえるか？ ・外部への依存度はどの程度か？ ・南南協力支援を通して移転された技術、知識は根づいているか？ ・移転された技術、知識を基にさらに応用しているか？	a. 現地調査における関係者へのヒアリング b. 協力実施国のODAに関する統計データ c. 協力実施国の援助窓口機関の予算計画書	協力実施国（政府、実施機関）
			域内協力の推進にどの程度貢献しているのか（域内協力に関する統計的データ）？ ・域内協定、枠組みの締結数 ・域内輸出入額の推移 ・域内セミナー、ワークショップ、会議の数 ・新興援助国の途上国向け専門家派遣実施件数の推移	a. 現地調査における関係者へのヒアリング b. 協力実施国、協力受け入れ国における貿易データ	協力実施国（外務省、経済産業省、実施機関）
		地域間協力の進展に貢献しているのか？ ・中東・アフリカ間の貿易額 ・中東・アフリカ間の人的交流（留学生の受け入れ、奨学金の承認額） ・中東・アフリカ間の協定、枠組みの数 ・中東・アフリカの共同セミナー、ワークショップ、会議	a. 現地調査における関係者へのヒアリング b. 外務省、JICAの経費に関する報告書	協力実施国（政府） 協力受益国（政府）	

III. 南南協力支援評価：効果

評価対象	評価手段	評価項目	評価内容	情報入手手段	相手先
		事例国における間接的・波及的效果 南南協力支援により直接または間接的に意図されるまたは意図されずに引き起こされる、主要なあるいは副次的な、正・負の長期的な	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国との外交関係への影響 ・わが国のプレゼンス（顔の見える援助）への影響 	a. 現地調査における関係者へのヒアリング	外務省（在外） JICA（在外） 協力実施国（政府） 協力受益国（政府）